



尾久二だより

令和 4年 1月11日
荒川区立尾久第二幼稚園
園長 高橋 美香



心に響く体験を 大切に

園長 高橋 美香



新しい年を迎えました。昨年も大変厳しい環境での1年でしたので、なおさら今年は良い1年であることを切に願っております。安全と安心を第一に、心に響く体験を積み重ね、子供たちの成長を見守りながら過ごしてまいりたいと思います。今年もよろしくお祈りします。



さて、12月にも心に響く体験を積み重ねることができました。5歳いるか組の劇遊びの会では、自分たちでアイデアを出しながら、動きや道具なども作りました。練習の時に、友達の良い所を見つけて「ダンスが可愛かったよ」「ほんとの言葉みたいに言えてた！」等と発表し合い、それがお互いの励みとなり、ぐんぐん上達しました。当日は劇も歌「♪きっとできる」「♪きみイロ」等もとても上手で、おうちの方にたくさん褒めていただき、子供たちは誇らしげでした。子供たちの成長が見える、素敵な劇遊びの会になりました。

1年ぶりの餅つき会では、まず蒸したもち米を食べて「モチモチしてる！」と気づきました。それから「よいしょ」の掛け声で、全員が杵をもって餅つきをして、「お餅美味しいね」とにこにこしながら食べていました。きなこ味が好評でした。お手伝いに来てくださった町会の方々やお父さん、お母さん達、ありがとうございました。

そしてお楽しみ会。やってきたサンタさんに「皆、良い子にしていたから、プレゼントをあげるよ」と言われて、全員、手を打ちジャンプして大喜び。お礼に歌「♪クリスマスの歌がきこえてくるよ」をプレゼントしました。サンタさんが帰った後、なんと用意していたくつ下にプレゼントが入っていました。「園長先生見てみてー！」とプレゼントを見せてくれる子供たち。「いいなあ。」と言うと、「園長先生はもらえなかったの？良い子にしてたら、もらえるんだよ。」優しく教えてくれる子供たちでした。



3学期にはりす組やうさぎ組の劇遊びの会を予定しています。子ども達が楽しく演じる姿を、是非見に来てください。感染拡大の状況によっては実施方法等を変更する場合がありますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。



うさぎ組

- 自分の思いを出しながら、好きな遊びを十分に楽しむ
- 教師や友達と一緒に楽器遊びや表現遊びを楽しむ



りす組

- 友達と一緒に共通の目的に向かって取り組む楽しさを味わう
- 寒さに負けず、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう
- 冬ならではの自然の変化に驚いたり、発見したりして楽しむ



いるか組

- 目標に向かって繰り返し取り組む楽しさや、できた満足感を味わう
- 友達と教え合ったり励まし合ったりする中で、友達の得意な面やよさを認める
- 冬の自然に興味や関心をもち、考えたり試したりしながら遊びに取り入れる